



平成 20 年 4 月 25 日

各 位

会社名 株式会社 アップ  
 代表者名 代表取締役社長 木下 雅勝  
 (コード番号 9630 東証第2部)  
 問合せ先 アドミニストティブ・ディレクター 田辺 岳雄  
 (TEL 0798-64-7400)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 4 月 26 日の決算短信発表時に発表した平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当期の業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	7,852	1,273	1,291	691
今回修正予想(B)	7,914	720	734	286
増減額(B-A)	62	553	557	404
増減率(%)	0.8	43.4	43.2	58.6
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	7,228	1,099	1,114	672

#### 2. 修正の理由

当社は、中・長期にわたる安定的な成長を期するために、当期におきましては好立地マ-ケットへは当初計画外であっても、積極的に校舎を展開する経営戦略を推進してまいりました。

具体的には、奈良県奈良市へ(中学受験指導部門)進学館、兵庫県神戸市北区へ(高校受験指導部門)開進館、京都府木津川市へ(大学受験指導部門)研伸館及び(個別受験指導部門)個別館などがあります。

この結果、売上高は当初予想額より増加する見込みであります。顧客満足度や学習環境の更なる向上を図るため、主要校舎への VOD ラ-ニング機器の拡充、利便性向上のための大規模校舎の移転に伴う什器備品への積極投資の増加 223 百万円、内装設備工事による減価償却費の増加 93 百万円、新設に備えた人員補強による人件費の増加 101 百万円となりました。

国際的な金融市場の混乱に伴う株価下落により、適格企業年金資産の運用損失 126 百万円が生じたことによる年金数理計算上の差異などの諸要因の影響により、営業利益及び経常利益が当初予想額より減少する見込みであります。

また、保有しております投資有価証券の評価損 163 百万円を特別損失として減損処理するために、当期純利益においても当初予想額を下回る見込みとなりました。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因により上記予想と異なる可能性があります。

以 上